

(別紙4(2))

事業所名 グループホームつどい

目標達成計画

作成日：令和元年 7月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	13	【職員教育】 認知症の理解	認知症の理解を深める。 入居者様への気づき・状況に応じた柔軟な対応が出来る。	①職員面談の実施。職員個々の認知症理解について把握していく。 ②勉強会の実施。(医師講義・グループワーク等) ③介護研究の実施。 12ヶ月
2	13	【職員教育】 事故報告書 ヒヤリハット統計	事故報告書・ヒヤリハット統計等の検討内容の充実。 今後の対応に活かされる。	①「事故報告書」の理解。記載指導。 ②事故報告・個別ケア会議の改善、充実。 ③「ほう(報告)れん(連絡)そう(相談)」の徹底。 ④年間目標の設定・実施。 12ヶ月
3	6 7	【職員教育】 身体拘束や倫理・権利擁護	身体拘束や倫理・権利擁護の理解。 労働環境の整備。	①職員個々の身体拘束や倫理・権利擁護の理解について把握していく。 ②勉強会の実施。(法人内の勉強会・グループワーク等) ③職員教育の見直し。(マニュアル・チェックリストの見直し。ユニットリーダー・中堅・新人に分けて課題を抽出。) 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。